



附中だより

2019年6月3日

第4号

宮城教育大学附属中学校

〒980-0011 仙台市青葉区上杉6丁目4番1号 電話 022-234-0347 FAX022-234-0301 <https://fu-cyuu.miyakyo-u.ac.jp/>

第1回進路説明会開催のお知らせ

7月4日(木) 13:20~16:10の日程で、第1回進路説明会を実施します。3学年生徒と全学年保護者が対象です。会場は、本校体育館です。内容は、宮城県教育庁高校教育課から講師を招いての宮城県公立高等学校新入試制度についての説明と、仙台第一高等学校を始めとする合計5校の公立高校の先生方からの学校説明です。詳細と申し込みは、別紙を確認してください。

令和元年度前期生徒総会

5月30日(木)の5,6校時に、厳粛な雰囲気で行われました。

会の始めに生徒会長の角道吾子さんから、「一人一人が総会と向き合ってください。この会は、一部の人だけが中心となって話し合っていくものではありません。1年に2度の全校生徒が集まって学校のために話し合う時間を全員が大切にしてください。この総会を通して、学校への関心を少しでも高めてもらえればと願っています。この総会がより良い附中にしていくための大きな一歩となるよう、一人一人が真剣に臨んでほしいです。」と、お話がありました。会長を中心とした生徒会総務が、限られた時間の中でしっかりと準備しました。各委員会からの活動報告や活動予定、最後は今後さらに積極的に活動する予定のあいさつ運動について、活発な意見交換ができました。



仙台市中総体にむけて

6月8日(土)~6月10日(月)の日程(水泳競技は6月19日(水),20日(木))で、市内各会場で開催される市中総体に向けて、各サークルでは最後の調整が念入りに行われています。共に汗して努力してきた仲間を最後まで信じ、ライバルや自分自身と闘い、これまで応援いただいた保護者の皆様の思いに応える活躍を見せてくれる姿を期待しています。各サークルのリーダーたちの今の心境を紹介します。

野球サークル

蘓武 周さん

僕たちはこれまで「スピードアップ、マナーアップ」「全力声出し」「全員野球」を合言葉に、中総体で一勝するためにがんばってきました。しかし、プレーでミスがあったり、試合中や練習中に互いに声を出さなかったりなど、上手い出来ないこともありました。その度にミーティングを行い、課題をつぶしてきました。最近、試合の度に選手全員でレポートを書き、自分の気付いた良い点や改善点を共有し、自分の考えを自分だけに納めず、他の人にも伝えることをしています。

中総体本番では、個人の力では相手に劣るかもしれないかもしれませんが、チームの団結力を存分に発揮し、最後の1球まで食らい付き、附属らしい泥臭い試合をしたいです。全校の皆さん、応援よろしくお願いします。



陸上サークル

小山 穂依さん

陸上サークルの入部届を出してから、あっという間に2年が過ぎ、最後の中総体をむかえようとしています。私はこの2年間で、どんなスポーツでも自分一人で成長することはできないと強く感じました。陸上は確かに個人種目ばかりで、チームで闘うことはほとんどありません。しかし、私は練習の時のアドバイスや励まし、大会の時の応援など、何度も何度も仲間から力をもらいここまでできました。

今までもらった仲間からの力、そして成長した自分の力を信じて、中総体では全力を出し切り、様々な人に感謝を伝えたいです。そして、最後は全員で笑って終わられるよう、走り続けたいです。



サッカーサークル

野呂 星斗さん

おそらく、サークル長の中で新人戦や中総体などの公式戦に出られていないのは、私だけだろう。サッカーには選手登録というものがあり、私はそれをクラブチームで行っているため、公式戦に出られないのだ。サークル長なのに試合に出られないというのは、自分でも複雑な気持ちだ。チームメイトはもちろん、他のサークル長の皆にも迷惑をかけている気がしてならない。だが、そんな私を気遣ってくれたり、サポートしたりしてくれる、顧問の大場先生をはじめとしたチームメイト皆の支えがあったからこそ、サークル長を続けてこれたのだと思う。サークル活動を通して、周りの人々の支えに感謝することを、私は学ぶことができた。中総体当日は、「応援」という形での参加になるが、最後の1秒までピッチの選手に声をかけ続けたい。そして、選手の皆にも「感謝」というのを忘れずにプレーしてほしい。



水泳サークル

大和田 結奈さん

もうすぐ私たち3年生にとって、最後の中総体がやってくる。これまで練習してきたことの全てを出し切ろうと意気込む3年生のせいで、今日のサークルも一段と熱かった。部員の間で、水泳サークルは筋トレサークルとも呼ばれている。夏の間しかプールで泳ぐことができないため、1年のほとんどを陸トレをして過ごしているからである。私は、そんなコツコツ積み上げていく感じの水泳サークルが好きだ。男女も学年も関係なく仲が良く、実習棟の2階でもプールでもどこでも笑い声が絶えず明るくて、でもメニューはきっちりこなす。そんな水泳サークルの皆が、私は大好きだ。私には、最後の中総体で感謝を伝えたい相手がたくさんいる。大好きな水泳サークルを築き、支えてきてくれた先輩方、後輩たち。いつも私たちに熱心に指導をしてきてくださった浅水先生、加藤先生。ずっと応援してきてくださった保護者の方々、両親、そして喜びも悔しさもたくさん分け合って一緒に成長できた3年生の皆。当日は、泳ぎや態度でこの感謝の気持ちを伝えたい。これを読んでいる皆様、水泳サークルの活躍に乞う御期待！



男子ソフトテニスサークル

金野 晴弥さん

僕にとってサークルは、日常の一部でした。ただ何となく、自分のいいように楽しんでいました。しかし、その心の安らぎの場は、中総体を意識した瞬間に一変しました。「楽しさ」から「辛さ」に。まるで、眠りから覚めるように自然に。僕は痛感しました。自分が今までどれだけ甘かったのかと。そして自問自答しました。「こんなことで良いのか。」答は否。当たり前です。良いわけがありません。さらにダブルスが主流のソフトテニスでは、責任が発生します。ペアのため、自分のためにもやるべきことはしっかりやらなければいけません。自分の甘さを痛いほど分からせてくれたソフトテニスは、僕にとってとても大切な場所です。大好きなソフトテニスサークルでの活動を少しでも長く続けられるように、全力を出し尽くし、勝ち進んでいきたいと思います。



女子ソフトテニスサークル

菅原 彩乃さん

本当にいろいろなことがあった2年間のサークル活動だった。女子は人数が少なく、個性豊かなメンバーだったからこそ、意見がずれて上手くまとまらないこともあった。しかし、テニスが好きだという気持ちは、皆変わらず、そんな壁も全員で乗り越えてきた。日が照りつけた夏の長く暑い練習の時も、外が真っ暗で何も見えず、凍えた冬の朝練習の時も、どんな時でも一緒に練習をがんばってきた。1つしかないコートの中で育んできた友情と、どこよりも早い毎週の朝練習で練習してきた自信が、私たち附属中学校テニスサークルにはある。中総体当日は、今まで支えてきてくださった先生方のために、最後まであきらめずに必死でボールに食らい付いていきたい。一球一球を大事にして、最後の試合に臨みたい。



男子バスケットボールサークル

佐藤 広顕さん

入部してから2年が経ち、あっという間にむかえた最後の中総体。こんなに早くこの日が訪れるとは思っていませんでした。この2年半があっという間に感じたのは仲間のおかげだと思っています。附属小からの進学ではない僕を受け入れて、信頼してくれた仲間、心の底から大切だといえる仲間がいたからこそ、ここまでやってこられたのだと思います。最後の中総体では、3年間8人で一緒に歩んでくれたことに感謝しながら、少しの時間も無駄にしないようにしたいと思っています。そして、これまでお世話になった先生方、先輩、保護者の方々に恩返しができるよう、1秒1秒を大切に、丁寧に戦ってきたいと思っています。



女子バスケットボールサークル

小川 暁さん

先輩の中総体が終了してから約2年間、私たちは他のどのサークルよりも、私たちの私たちによる私たちのためのチームを作る時間がありました。2年間という時を経て、もうチームのメンバーに隠すことがないというほど心を許し合い、サークルのメンバーにいるときはありのままにすることができました。1、2年生の頃は、どの中学校と戦っても負けて、諦めそうになることも、いや諦めたこともありました。しかし、3年生になると勝てることも増え、接戦に持ち込めるようにもなりました。サークルを通して、私は勝つことの楽しさを学びました。「SLAM DANK」でも言っていましたが、「バスケは勝った方が何倍も楽しい」。だから、これまで2年間、共にがんばってきた仲間と、勝って楽しみたい。観ている人を楽しんでもらえる、そんな試合を作りたい。そのために全力で戦ってきます。皆様の応援が、選手の心の支えとなりますので、応援よろしくをお願いします。



男子バレーボールサークル

高橋 駿介さん

私たちバレーボールサークルは、8人という少ない人数の中活動してきました。人数が少ないということは、その分一人一人の協力が求められます。ですが、私たちは団結できているとはいえませんでした。何度も衝突を繰り返し、練習時間を台無しにしてしまうこともしばしば……。そんな私たちでしたが、最近ではチームで一枚岩となって練習に取り組めるようになってきました。雰囲気も良く、技術も向上してきた私たちの中総体での目標は、1試合、1セットを大事にし、勝利を重ねていく、です。一人一人が周りの雰囲気を盛り上げ、得点をとることの喜びを噛みしめながら、粘り強く戦っていきたいと思います。また、練習に参加してくださった先輩方や熱心に私たちに向き合ってくださった安部先生、芽衣子先生に感謝の気持ちを忘れずに、プレーしていきたいと思っています。男バレ絶対勝つぞ！



女子バレーボールサークル

川下 真奈さん

これまでのサークル活動で得たものは、技術だけだろうか。きっとそんな人は誰一人いない。私もサークル活動で得たことがある。それは、目標に向かって“皆で”努力することの楽しさだ。バレーボールは、チームスポーツである故に、自分の失点は、チームの失点だ。しかし、それは自分の得点がチームの得点になるということでもある。一人一人がその1点1点のために練習をして、チームとして始めよりも成長していると思う。6月8日にはもう本番だ。一番悔しいのは、自分たちの力を全て出し切れないことだと思う。当日、サークル活動によって成長できたところを全て出して、このチームで良かったと皆で言いたい。



男子バドミントンサークル

山田 涼平さん

これまでのサークルでは、プレーはもちろんマナーや積極性も学びました。プレーでは顧問の石崎先生の御指導の下、打倒仙台一中に向けて練習してきました。上手いかないことやもっと改善すべきところなど、壁にぶつかることもありました。しかし、先輩方や後輩、そして同学年の仲間とその壁を乗り越えてきました。サークル以外でも自分から動いたり、進んで挨拶したりと1年生のときの自分から大きく変化したこともあります。このような学びを後輩達へ伝えられたかどうかは分かりませんが、自分たちは伝えることは伝えました。中総体の応援よろしくをお願いします。また、1, 2年生が主体となるこれからの男子バドミントンサークルも応援よろしくをお願いします。



女子バドミントンサークル

菅原 みさきさん

私がこの女子バドミントンサークルに入部して早3年。これまでの活動の中で、いろいろなことを体験することができた。今、私はサークル長だ。しかし、「バドミントンが得意だ」と胸を張って言えるほど上手ではない。そのため、自分に自信が持てず萎縮してしまっていた。しかし、このままではいけないと自分に言い聞かせた。たくさん練習しよう。堂々とした姿でいよう。そう思い、少しずつ自分を変えていった。皆もたくさん協力してくれた。すると、サークルがだんだんとまとまるようになった。私についてきてくれたサークルの皆、そして先生方に本当に感謝している。私は、このサークルの中で一人では何もできないこと、自信を無くしてしまっていたは前に進めないことを学んだ。中総体まであと少し。サークルがバラバラなときもあった。自分の不甲斐なさ泣きたくなるときもあった。でも、今私はこの女子バドミントンサークルが大好きだ。サークルの皆がとても誇らしい。最後の大会、悔いが残らないよう、皆と共に全力を尽くしてがんばりたい。



柔道サークル

片山 友康さん

私は、柔道サークルに所属して約3年が経ち、間もなく幕を閉じようとしている。この3年間、柔道を通していろいろなことを学んだ。1つ目は、礼の大切さだ。試合では勝負が決まるが、最後にはしっかりと戦ってくれた相手に感謝の気持ちを持って礼をする。その気持ちを、普段の授業の始めと終わりの挨拶でも、しっかりと表すことができた。2つ目は、努力することの大切さだ。私は、1年生の時の新人戦一回戦では、「惜敗」ではなく「惨敗」だった。そのとき、先輩に「もっと努力すべきだ」と指摘された、私は悔しくなり、自分に厳しくなって、家でも筋トレに欠かさず取り組んだ。2年の中総体でその成果がでて、一回戦を突破することができた。努力は裏切らないということを大きく実感することができた。最後の中総体は正々堂々と戦い、悔いのない充実した試合にしたい。最後まで諦めるつもりはない。後輩に、しっかりと伝えたい。



剣道サークル

大庄司 蓮音さん

最初入部して一人だったとき、僕はこれから先がんばっていいのか、不安しかなかった。この附属中学校という新しい環境に足を踏み入れ、周りには知らない人だらけ。人見知りな性格も重なって、深い闇に一人残された様なそんな気持ちだった。それでも今こうやって後輩に囲まれて楽しく活動できているのは、ここまで顧問の先生方や先輩方、後輩の皆に支えてきてもらったおかげだと思う。「打って反省、打たれて感謝」剣道を3年間続けた中で何度も聞いた言葉だ。相手を打ちにいくも一本にならず、自分の攻めの弱さを知り、打たれて一本を取られ、自分の守りの弱さを知る。相手がいるからこそ今の自分があることを思い出させてくれる言葉だ。苦楽を共にする仲間、勝利を目指してきたライバル達がいたからこそ自分がある。その全ての人への感謝を忘れずに、最後の中総体は1試合1試合を全力で戦い抜こうと思う。

